

放課後等デイサービス自己評価表 事業者向け

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2		2	・指定基準を満たし適切である。 ・活動を屋外・屋内にグループ分けし対応している。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	1		・指定基準数を上回る人員を確保し、手厚い支援を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2	1	・1階構造であり、適切である。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4			・年間事業目標、個人目標を設定し、組織的に取り組んでいる。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	3		・本自己評価を今後の改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	3		・HPにて公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4		・第三者評価は行っていないが、法人内の他事業所職員が支援に入り、第三者的に支援のチェックをしている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			・毎日の振り返りや毎月の研修や支援会議により支援の質向上に努めている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4			・医学的、科学的根拠に基づいて支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1		・ICF(国際生活機能分類)やJSI-R(感覚統合)、遠城寺式などを使用し、支援に役立てている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	1		・利用児の意見を聞き、毎回チームにてプログラムを立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1		・活動場所に変化をつけ、児童たちに選択してもらっている。 ・夏祭りなど季節に合わせたプログラムを実施している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	2		・集団のグループが変わるので、それに合わせて課題を決めている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	4			・個別活動で個人のスキルアップ、集団活動で社会性のスキルアップを目指し、両方織り交ぜながら支援計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			・朝の打ち合わせ時にその日の活動表に基づき、毎回実施している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			・毎日、児童指導員で振り返りを行い、記録を取り次回につなげている。

	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			・児童指導員は毎日記録に目を通してから支援を行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス支援計画の見直しの必要性を判断しているか	2	2		・半年に1回実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	2	2		・ガイドラインを職員に配布し、常に心がけている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	1		・管理者と児童の事をよく理解しているスタッフが会議に参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・年間行事等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡等)を適切に行っているか	3	1		・学校予定表を常に携帯している。送迎時、教員と毎回情報交換を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	3		・機会あれば対応可能である。
	23	就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で支援内容等の情報共有と相互理解に務めているか	3	1		・対象児について保育所等を訪問し、情報交換を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2		・事業所独自の「就学移行支援資料」を作成、学校への引継ぎを実施している。
	25	児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1		・事業所利用時や就学移行の際に地域の療育機関や相談支援事業者と連携している。
	26	放課後児童クラブとの交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4		1	・小学校前や、児童クラブ前での屋外活動は、健常児とほぼ毎回交流している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	3		・現在は無いが、機会あれば参加したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			・毎回の連絡帳や送迎時を中心に課題についての共有をしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラムペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		4		・コロナにより、面談は行えていないが、電話にて保護者支援を行っている。
保護者への	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1		・重要事項説明時、丁寧に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか	4			・送迎時や電話などで、状況に応じ対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3		・コロナ前は行っていたので、コロナ収束後、再開したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1		・苦情窓口、解決責任者を明確にするとともに、早期対応を行い、インシデント報告書でも法人内で周知している。親御様へは重要事項説明時に説明をしている。

説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		4		・子どもたちの個別作品、共同作品をHPにて公開している。行事などは、毎月、予定表を配布している。
	35	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4			・守秘義務の順守は、支援上の最重要事項と認識し支援を行っている。書類は、鍵付き書庫で保管している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	1		・視覚化やジェスチャーを用いてコミュニケーションの工夫・配慮を実施している。言葉にない思いまで汲み取るよう心がけている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2		・行事の場面は現在ないが、屋外活動や地域清掃活動にて住民とコミュニケーションを取っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4			・マニュアルは策定済み、保護者には緊急避難場所を周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			・年2回、通報、消火、避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			・定期研修を実施し、県主催のオンライン研修に参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス支援計画に記載しているか	3	1		・現在事例はないが、必要となれば、適切に対応していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2		・現在アレルギーのある児童がいないが、保護者の申告に基づいて対応している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			・法人内で、インシデント報告書を回覧し、職員間で検証・共有している。	